

発行：2016年9月1日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦
 連絡先事務局 〒753-0221 山口市大内矢田北3丁目9-1 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083
 ホームページアドレス：<http://www.shanti-yamaguchi.com/>

「平成 28 年度地球環境基金」助成金交付決定 (平成 28 年 6 月 10 日付)

平成 28 年度～平成 30 年度までの 3 年企画を目標に 28 年度分の交付が決定されました。
 本年度からの新規プロジェクトは、

1. 活動名：タイ国・北タイ地域「地域と協働連携による生活環境実態調査」と生活環境保全
2. 活動概要

平成 25 年度から弊害解消のため実施してきたホイプム村では、「GMO トウモロコシ栽培」を段階的に果樹栽培へ転換した。これが解消に向かっていることは、ほぼ間違いないと思われるが、その確証はない。

他の地域では、これが原因で生活環境悪化や健康被害などが蔓延することは、時間の問題とも言え、早期に対策を施し発生源で元を絶つ必要がある。

弊害の修復には、原因の掌握と原因排除により長期的に実践を投入することと、住民への理解と周知させると共に地域行政を通じての指導と広報活動で対応しなければ、経済活動に起因した広範囲にわたる公害的弊害は、減少、解消させることは困難である。

本事業では、平成 28 年度からの 3 年間、ホイプム村に加えて新たにホイドウア村で「弊害をもたらす農作物の軽減と環境に優しく経済効果の高い持続可能な農業の促進を図る」と共に、これまでの弊害軽減対策事業実施過程で弊害の原因と推測された事項の調査研究を地域住民・行政と連携して実践し、その都度結果の考察をする。

これまで関わってきた事業の成果と実践モデル例などを基に調査報告書を作成すると共に地域住民に対しての現状と、生活環境教育のチラシ、ポスターなどを作成し各地域の保健所を通じて環境教育セミナーなどに活用する。

その後は、調査報告書に基づき生活環境保全に対して地域行政による指導・啓発・広報と対応策を広範囲の住民に理解と周知させ、また、実践活動を通じての成果資料を基に環境教育の基礎作りに資する。

本事業以外に、住民の農業研修、果樹育成指導・地域保健所との連携による健康相談、保健衛生セミナー・地域巡回医療・保育所の整備（eco トイレ設置・施設補修・学習用品、絵本などの教育援助）その他緊急援助に対応を予定しています。



新たに取り組むホイドウア村



ホイドウア村 平成 28 年度住民会議の様子

「Green Fund」 「緑の募金」 平成 28 年度事業認証 2 年目 平成 28 年 7 月 1 日交付決定



果樹植栽準備が整った農地

昨年に引き続き「緑の募金」助成が認証されました。当該村は、昨年までの地球環境基金プロジェクトのホイム村とまったく同様の境遇の村で、村の存続が危ぶまれる状況下で何とか立ち上がろうと遺伝子組み換えトウモロコシから果樹転換へと先行村のモデルを目標に努力している状況です。過酷な生活を余儀なくされているホイドウア村、第 2 回目の「緑の募金」で 6,000 本(30ha)の植栽を計画しています。早速苗木の選択、植栽に取りかかります。村も昨年に増して賑やかな活気が伺えます。

8 月 19 日~27 日 スタディーツアー無事終了

恒例の徳島大学・山口県立大学それぞれの行事や都合により参加者 3 名となり、うち、全行程は 1 名と寂しいフィールド学習と成りましたが、結果それぞれの地で大歓迎をうけ内容の濃い実りある学習でした。

(追って PHAYAO レポートで詳細を報告します。)

～環境支援募金にご協力をお願いします。～

20160901saeki